

関西医大で
スーパードクター
を目指そう

卒研センター NEWS

麻酔科専門研修プログラム

周術期管理や全身管理を担う集中治療、
ペインクリニックなど、時代の
要請に応えた麻酔法を実践

研修Outline



侵襲に対する生体反応の
理解から重症患者の全身
管理まで、幅広く指導

麻酔科学講座
上林 卓彦 教授

当講座の全身管理症例は附属病院で年間5,000例超(平成27年度実績)を誇ります。さらに、最新の生体モニタリング機器を活用し、重症・合併症症例や日帰り手術、無痛分娩も担当しています。また、近年注目を浴びる術後疼痛管理や悪心・嘔吐の予防といったQOL改善ニーズにも対応し、硬膜外麻酔や区域麻酔技術の向上も実践。心臓血管麻酔や区域麻酔、小児麻酔などでは、各分野のエキスパートが指導しています。

専門研修プログラム概要

麻酔科標榜医(厚生労働省)を取得・麻酔科認定病院での2年間の研修
麻酔科専門医:初期臨床研修終了後、日本麻酔科学会が認定した研修
プログラムに則り、4年以上の研修。研修後、認定試験受験。
経験必要症例数:小児(6歳未満)の麻酔(25症例)、帝王切開術の麻酔
(10症例)、心臓血管手術の麻酔(25症例)、胸部外科手術の麻酔(25
症例)、脳神経外科手術の症例(25症例)

専門研修修了後に得られる資格

日本麻酔科学会専門医、日本集中治療医学会専門医、日本ペインク
リニック学会専門医、日本心臓血管麻酔学会専門医

専門研修後の進路

大学院への進学、附属病院または一般病院での更なる研修など

初期研修で推奨されるローテーション診療科

麻酔科、外科系各科、循環器内科、救急医学科



心臓血管外科 専門研修プログラム

難易度の高い手技や症例の
経験が積める充実した研修・指導体制
地域の患者さんからも信頼される
心臓血管外科の専門医に

きめ細やかな指導体制で
一流の心臓血管外科医へ



心臓血管外科学講座
湊 直樹 教授



当科には実績と実力を兼ね備えた指導医がおり、
充実した体制が整っています。冠動脈バイパス、僧帽
弁/大動脈弁形成など難易度の高い手術でも、安定
した成績を誇ります。胸部/腹部大動脈瘤に対する
ステントグラフト内挿術は、短時間・低侵襲な治療を
実現し、患者さんの信頼を獲得。さらに2014年には
小児心臓外科を新設し、先天性心疾患の手術と診療
も行っており、心臓血管外科の全領域の研修が可能
です。また、若手の技術向上を目的に、ブタの心臓を
用いた手術手技の指導も行っています。

専門研修修了後に得られる資格

外科専門医、心臓血管外科専門医、
腹部ステントグラフト実施医・指導医、
胸部ステントグラフト実施医・指導医

初期研修で推奨されるローテーション診療科

心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、麻酔科、
救命救急科、循環器内科、小児科

研修プログラム概要

- 卒後3、4年目
担当医として、指導医のもと日常診療にあたる。人工心肺カニ
ュレーション、グラフト血管採取、腹部大動脈瘤置換術などを経験。
- 卒後5年目
外科専門医に必要な一般外科の修練にあたる。消化器外
科などで一般外科の技量を高める。国内留学も可能。
- 卒後6、7年目
心臓血管外科専門医を目指し、主治医として診療と手術を
担当する。単弁置換、冠動脈バイパス術、ステントグラフト
内挿術、上行大動脈置換術などを経験。



INFORMATION 説明会告知

腎泌尿器外科 松田 公志

第3回 腎泌尿器外科 ハンズオンセミナー/入局説明会(懇親会)

- 日時: 7/15(土) 15:30~
- 開催場所: 学舎4階 カンファレンスルームB
- 参加対象者: 研修医・医学生(5学年、6学年)

連絡先 矢西 正明

放射線科 谷川 昇

第3回 放射線科研修説明会

- 日時: 5/12(金) 18:00~
- 開催場所: 附属病院13階レストラン「のぞみ」
- 参加対象者: 研修医・医学生(5学年、6学年)

連絡先 放射線科教授室

眼科 高橋 寛二

第2回 眼科医局説明会

- 日時: 7/28(金)
- 開催場所: 未定
- 参加対象者: 研修医

連絡先 永井 由巳

心臓血管外科 湊 直樹

心臓血管外科手術を究めよう! ブタ心臓で手術体験(Wet labo)・入局説明・懇親会

- 日時: 6/29(木) 17:00~
- 開催場所: 学舎9階 胸部心臓血管外科研究室
つづいて 近隣の食事処
- 参加対象者: 医学生(5学年・6学年)、および
初期/後期研修医

連絡先 岡田 隆之 又は医局秘書

呼吸器外科 村川 知弘

第1回 呼吸器外科入局説明会

- 日時: 6/8(木) 16:30~
- 開催場所: 学舎9階 呼吸器外科医局
- 参加対象者: 初期臨床研修医、医学生

連絡先 齊藤 朋人

精神神経科 木下 利彦

2018年度 精神神経科 入局説明会

- 日時: 5/26(金) 18:30~
- 開催場所: 総合医療センター 精神神経科
作業療法室
- 参加対象者: 研修医・医学生

連絡先 加藤 正樹、医局秘書

読者の声

ここでは読者の声を
ご紹介いたします!

あなたの「声」を掲載しませんか?

卒研ニュースでは読者のご意見・ご感想を募集しています。
気になることや面白いこと、施設を利用したご感想やご要望など
さまざまな読者の「声」をお待ちしています。

応募先 sotugori@hirakata.kmu.ac.jp



心臓血管外科の全領域を、他施設よりも早く、多く経験できる

当科では研修医にも、ブタの心臓を用いたWet Laboや
冠動脈吻合練習器での手術を指導。そのため手技やコツを
早くから学べ、効率的に技術向上できます。また、外科専門
医取得のために提携病院への1年間の国内留学が可能で
す。私も留学で基本手技や知識を学び、資格取得の必要条
件を無理なく経験でき、無事に外科専門医を取得しました。

さらに、低侵襲心臓手術(MICS)や大動脈ステントグラ
フトなどの先進的治療はじめ、小児を含む心臓血管外科全般を
経験でき、当科の若手育成方針から、同年代の他施設医師

よりも多く執刀経験を積めるでしょう。学会発表や論文執筆
の指導もしていただけるので、あとはアイデアとやる気次第
で学業業績も伸ばせます。大学病院の強みです。

私たちは入局者を「仲間・家族」として捉え、一人前になる
ためのサポートを惜しみません。チームで困難な手術を成し
遂げ、患者さんを救い、苦楽を共有できるのが当科の魅力
で、やりがいがあります。心臓血管外科医を目指す先生の、
一人でも多い仲間入りを歓迎します。ともに汗を流し、充実
した日々を過ごしませんか。



心臓血管外科学講座
7年目 助教
丸山 高弘 医師

第二内科（循環器内科・腎臓内科・内分泌代謝内科） 専門研修プログラム

超高齢化社会においてますます
重要になる、循環器・腎臓・内分泌代謝の
3領域で専門医を育成



生活習慣病を総合的に
診ることのできる専門医・
指導医を育成します

内科学第二講座
塩島 一郎 教授

循環器・腎臓・内分泌代謝の3領域は相互に密接な関連を持っており、多くの疾患は「生活習慣病」としてとらえることができると同時に、加齢に伴ってその発症頻度が増加する「老化関連疾患」としての側面も有しています。生活習慣病を総合的に診ることができ、さらに自身のsubspecialtyの分野でも高いレベルで活動できる専門医・指導医を育成します。

研修プログラム概要

- 卒後3年目：大学病院で専修医として研修をおこなう
- 卒後4～6年目：大学病院もしくは関連施設でSubspecialtyを中心に研修をおこなう

研修の目標

<循環器内科>
虚血性心疾患・不整脈・心不全について診断および治療方針の決定ができる／超音波、CT、RIなど循環器画像診断を習得する／冠動脈造影・経皮的冠動脈形成術などの侵襲的な検査・治療手技を習得する

<腎臓内科>
慢性腎炎・ネフローゼ症候群・慢性腎臓病について診断・治療方針の決定ができる／腎生検を施行し組織診断ができる／血液透析・腹膜透析の導入・維持ができる

<内分泌代謝内科>
I型・II型糖尿病の診断、治療方針の決定、合併症の管理ができる／内分泌疾患の診断のために適切な画像検査・負荷試験を施行し、治療方針の決定ができる

専門研修修了後に得られる資格

内科学会専門医、循環器学会専門医、腎臓学会専門医、
糖尿病学会専門医、内分泌学会専門医

研修Outline

腎泌尿器外科専門研修プログラム

泌尿器腹腔鏡手術症例は関西トップクラス
腎センターを設置し、腎臓分野の
エキスパートを養成
腹腔鏡手術の手技解析研究も国内最先端



内視鏡手術の
プロを育てます

腎泌尿器外科学講座
松田 公志 教授

当科は日本で最初に腹腔鏡手術を導入した講座の一つで、松田教授は手術手技開発にも関与したエキスパート。国内屈指の症例数・研究成果を誇ります。また、腹腔鏡手術は年200件、ダ・ヴィンチSiを利用したロボット支援前立腺全摘除術で122件を記録。腎センターや尿路結石センターを有し、内科医と連携した総合的な泌尿器分野の診療を学べます。

専門研修修了後に得られる資格

日本泌尿器科学会専門医

研修のために参加する学会

日本泌尿器科学会 総会・中部総会・関西地方会
日本泌尿器内視鏡学会

専門研修プログラムでの症例数

	外来症例数	手術症例数
拠点施設での症例数：	28,800	2,400
関連施設を含めた総症例数：	116,898	2,606

専門研修後の進路

大学院入学、附属病院または関連病院で専門性を高める研修、国内他施設での研修、関西医科大学スーパードクター養成制度による臨床留学、日本がん治療認定医、泌尿器腹腔鏡技術認定、日本生殖医学会生殖医療専門医、日本性機能学会専門医、日本移植学会移植医専門医、日本内分泌外科学会内分泌外科専門医の取得

初期研修で推奨されるローテート診療科

腎泌尿器外科（泌尿器科）、消化器外科、麻酔科、腎臓内科、産婦人科、腫瘍内科など



皮膚科専門研修プログラム

内科・外科・病理の要素を持つ診療科で
あり、アレルギー疾患から悪性腫瘍まで、
多面的な要望を受け入れられる
皮膚科専門医を育成



全ての皮膚疾患に、
最新の診断法と治療で
対応できる医師を育成

皮膚科学講座
岡本 祐之 教授

アレルギー性疾患の検査は年間約600件、紫外線治療はのべ16000件を数え、乾癬に対する生物学的製剤治療も400例を超え、多くの臨床経験を積むことが可能です。また、皮膚科として初めて「日本サルコイドーシス学会」を開催し、関西で20年ぶり、大阪で初めて「日本皮膚悪性腫瘍学会」を開催しています。豊富な症例から得られた知見を広める啓発・啓蒙活動を積極的に行っています。

研修プログラム概要

- 卒後3・4年目：附属病院または総合医療センターにおいて、上級医からの指導を受けながら学会・論文発表や各種講習会に参加
- 卒後5・6年目：附属病院または総合医療センターで研修を行い、専門性をさらに高める。あるいは、大学院へ進学する
- 卒後7年目以降：専門医試験の受験

専門研修修了後に得られる資格

日本皮膚科学会専門医

研修のために参加する学会

日本皮膚科学会総会、中部支部総会、近畿集談会、大阪地方会、日本皮膚アレルギー学会、日本皮膚悪性腫瘍学会、日本乾癬学会など

専門研修後の進路

附属病院で診療・教育・研究を行う、関連病院で経験を積むことでさらに専門性を高める、大学院へ進学して学位を取得するなど

初期研修で推奨されるローテート診療科

膠原病・リウマチ科、形成外科、臨床検査医学（病理）、小児科、救急医学など



研修Outline

放射線科専門研修プログラム

画像診断、IVR、放射線治療と、
入口から出口まで幅広い守備範囲が特徴
個人の特性や特技を活かせる診療科



最新の放射線機器と
親身なスタッフが、
最先端スキルの
習得をサポート

放射線科学講座
谷川 昇 教授

当講座は、レントゲンやCT・MRIに代表される画像診断はもちろん、カテーテル手術に不可欠な血管造影IVRによる手術支援、小線源治療や放射線治療など、「診る・見せる・治す」すべてを担当できるのが特徴。それぞれの分野にスペシャリストを配すとともに最新の医療機器を積極的に導入し、進化のスピードが早い放射線領域において個々の個性と特技にマッチした最先端スキルの習得を、サポートしています。

専門研修修了後に得られる資格

放射線科専門医、放射線診断専門医、放射線治療専門医

さらなる研修修了後に取得できる資格

IVR専門医、核医学専門医、PET核医学認定医

専門研修プログラムでの症例数

	CT	IVR	放射線治療
拠点施設での症例数：	32,625	1,109	848
関連施設を含めた総症例数：	89,283	2,153	1,108

初期研修で推奨されるローテート診療科

大学院への進学、附属病院での専門的な診療業務、国内専門病院での研修、地域がん基幹病院での勤務など

初期研修で推奨されるローテート診療科

救急医学科、消化器内科、消化器外科、心臓血管外科、循環器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、産婦人科、病理科など



研修Outline